

# インフルエンザについて

( 医院で使用中の患者説明用パンフレット )

## インフルエンザ予防法として

- ・マスクの着用や、人のいないほうを向いて咳をする、袖で口を覆うなどの「咳エチケット」を心がけること。
- ・手洗い、うがいを徹底すること。
- ・患者の看護や介護をした後は必ず石けんによる手洗い、またはアルコール製剤による消毒をすること。
- ・インフルエンザの潜伏期間は1～3日  
感染者と接触した後、発熱などの症状がないか健康観察を行うこと。
- ・家族が発症した場合でも症状がなければ、仕事や学校を休む必要はありません。

## インフルエンザにかかった場合

- ・統計によれば99.9%の患者は自然に治っています(1週間以内が目安)。
- ・なるべく家族とは別の個室で静養してください。
- ・糖尿病、慢性の心臓病・腎臓病など治療中の方は、早めに主治医にご相談ください。
- ・学校の出席停止期間は「発症した翌日から5日間を経過し、かつ解熱した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで」と決められています。感染を広げないため最低でも5日間は休んでください。  
(例：水曜日に発症した場合。木・金・土・日・月曜日の5日間休み、火曜日から出席可)
- ・大人の休業の目安は学校の出席停止期間を参考に、ご自分の事情に合わせて判断してください。

## 抗インフルエンザ薬の実際

外来で使う薬としてはタミフル、リレンザ、イナビルがあります。タミフルを服用しての転落死等については「タミフルが原因とは考えにくい」が公的見解です。仮に原因であるとした場合でも推定される事故死の確率は200万分の1です。成人には原則処方する方針ですが、要らないと明言される方には処方いたしません。各薬剤の特徴につき列記すると以下のようになります。

- <タミフル> 1日2回朝夕、5日間内服 薬価3,091円(3割負担で927円)
- <リレンザ> 1日2回朝夕、5日間吸入 薬価3,374円(3割負担で1,012円)
- <イナビル> 1回吸入のみ 薬価4,161円(3割負担で1,248円)
- <ラピアクタ> 1回点滴のみ 当院では使用しておりません

**重症患者の率** は、入院となるのは千人に1人、死者は20万人に1人程度です。

**インフルエンザワクチン** については統計的に有効であり大流行を予防するために効果があります。ただしワクチンの予防注射を打ってもインフルエンザにかかることはあります。

**より危険な強毒性インフルエンザが流行する危険性**

今のところ兆候はありません。

( 上記は広報担当者の医院の患者説明パンフレットです。施設によってはこまかな差もあるかと思いますがご容赦ください。2014/01/15 記す )

